

## 7月7日（金）七夕

きょう たなばた がっこう  
今日は、七夕です。学校にも、た  
さんの願ねがい事ごとが、飾かざってあります。

たなばた はなし むかし ちゅうごく う  
七夕の話は、昔の中国で生まれ  
ました。天空てんくうで一番いちばんえらい神様かみさま「天帝てんてい」  
には、「織女しょくじょ」という娘むすめがいて、神様かみさま

たちの着物きものの布ぬのを織おる仕事しごとをしていました。熱心ねっしんに働はたらいてい  
て、恋人こいびともいませんでした。かわいそうに思おもった天帝てんていは、天  
の川がわの対岸たいがんで牛うしを飼かっているまじめな青年せいねん「牽牛けんぎゅう」を、織女しょくじょ  
に引き合ひわせて、やがて二人ふたりは結婚けっこんしました。

ところが結婚けっこんしてからは、二人ふたりは毎日遊まいにちあそんで、仕事しごとをしな  
くなりました。織女しょくじょが仕事しごとをしないので、神様かみさまたちの着物きものは  
すりきれてぼろぼろです。牽牛けんぎゅうが牛うしの世話せわをしなくなったの  
で、牛うしは病気びょうきになってしまいました。これおこに怒おこった天帝てんていは、  
二人ふたりを天あまの川がわの両岸りょうがんに引き離ひしてしまいました。しかし、  
二人ふたりは悲しみかなのあまり毎日泣まいにちなき暮くらし、仕事しごとになりません。  
かわいそうに思おもった天帝てんていは、二人ふたりが毎日まいにちまじめに働はたらくなら、  
年ねんに一度いちど、7月7日よるの夜あに会やくそくわせてやると約束やくそくしました。こ  
れが、七夕たなばたの伝説でんせつです。

村越 新

